

資料1

前橋市社会福祉審議会
第8回高齢者福祉専門分科会

(1) 第8期まえばしスマイルプランの将来推計について

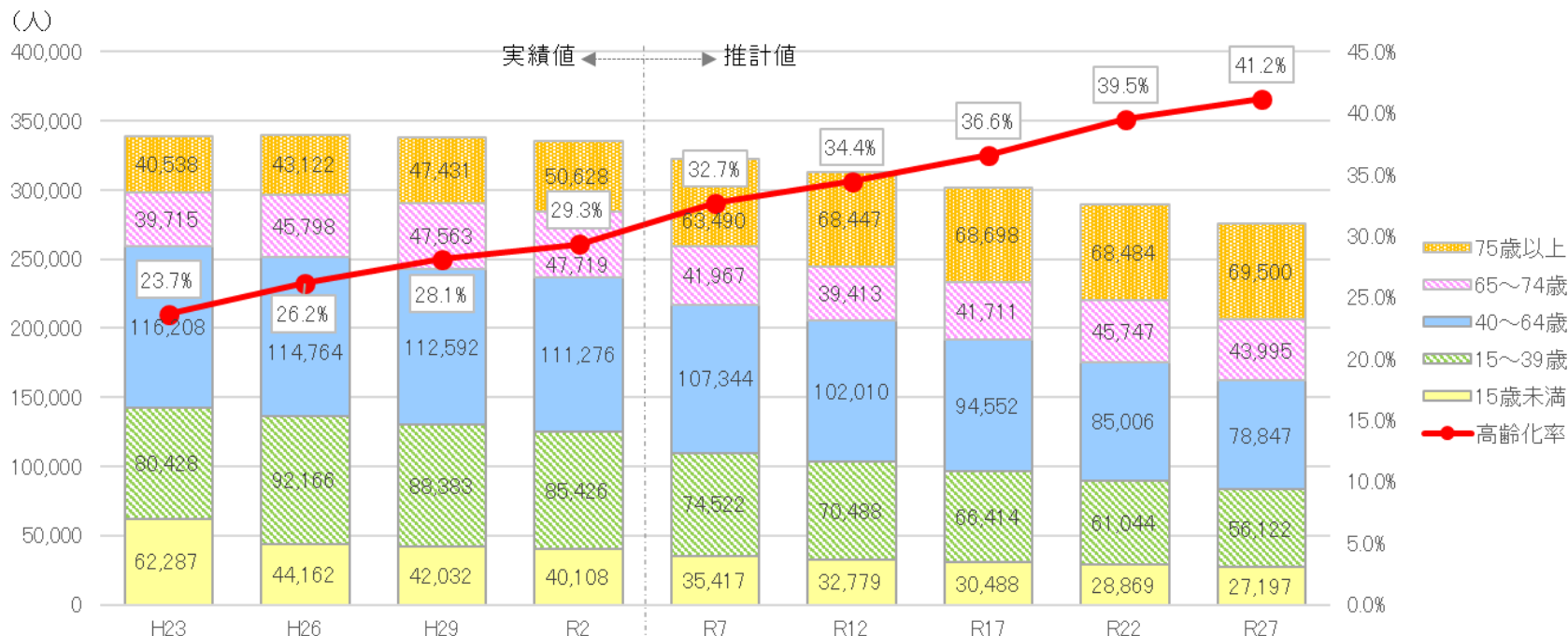
令和2年11月26日

1. 高齢者数・要介護等認定者数等の推計

1)人口等の状況 (1)人口の推計

■ 人口の推計 (各年10月1日時点推計)

- 総人口は今後も減少していき、令和22年には30万人を切ることが見込まれる。
- 団塊の世代がすべて後期高齢者となる令和7年には75歳以上人口が大幅に増加し、約6.3万になることが見込まれる。その後、75歳以上人口は、おおむね横ばいで推移していくことが見込まれる。
- おおむね横ばいで推移している40歳から64歳の割合が令和12年頃から減少し始め、令和17年には10万人を切ることが見込まれる。
- 高齢化率は今後も増加していき、令和7年には30%、令和26年には40%を超えることが見込まれる。



	H23	H26	H29	R2	R7	R12	R17	R22	R27
総人口	339,176	340,012	338,001	335,157	322,740	313,137	301,863	289,150	275,661

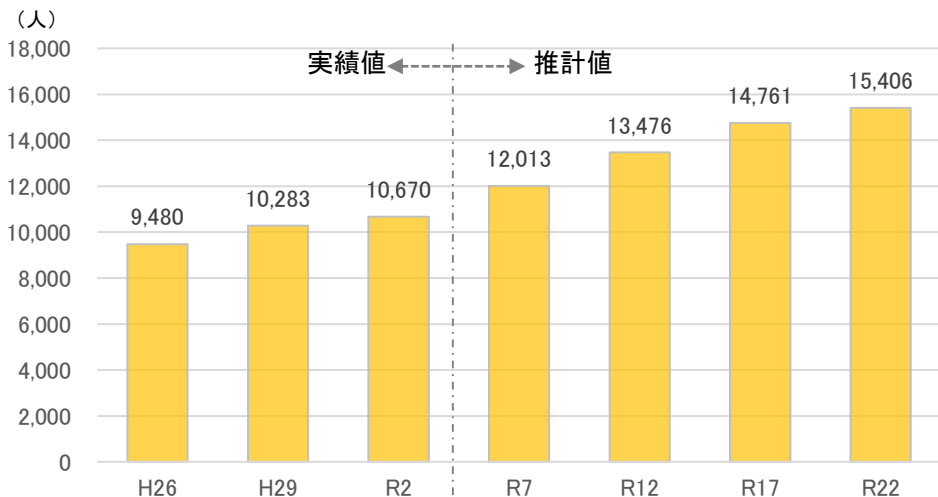
1. 高齢者数・要介護等認定者数等の推計

1)人口等の状況 (2)認知症高齢者及び被保険者の推計

■ 認知症高齢者の推計

- 認知症高齢者自立度がⅡ以上の高齢者は、令和2年9月末時点で10,670人となっており、高齢者に占める割合は、約11%である。
- 現状のまま増加し続けると、団塊の世代がすべて75歳以上となる令和7年には12,000人を超えることが見込まれる。

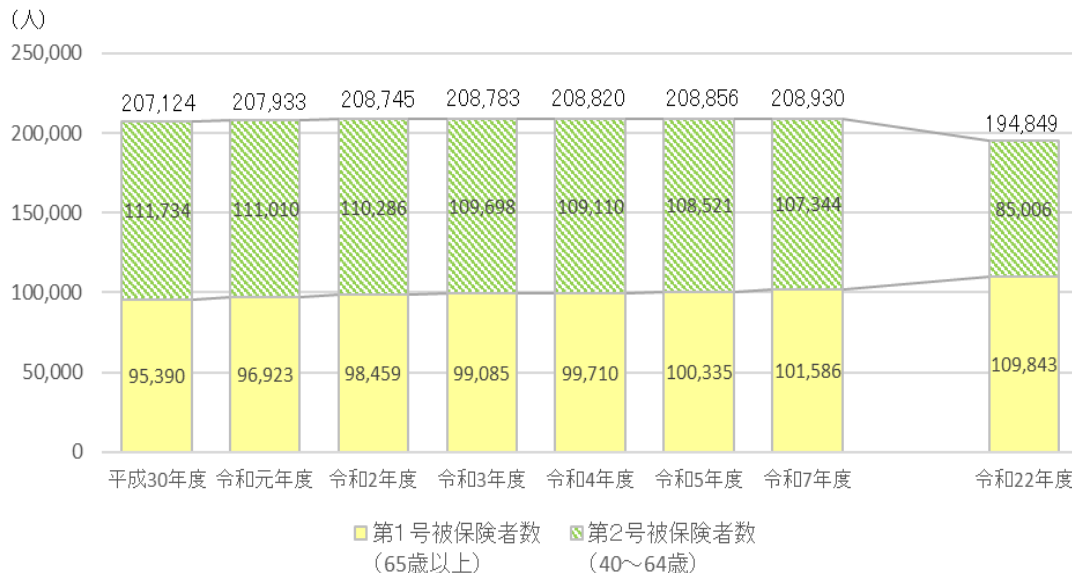
認知症高齢者自立度がⅡ以上の人数



■ 被保険者の推計

- 第8期計画期間中における被保険者数は微増の見込みで、第1号(65歳以上)は増加傾向であるのに対し、第2号(40~64歳)は減少傾向と見込まれる。
- 第1号被保険者(65歳以上)は、令和5年度には10万人を超えることが見込まれる。

被保険者数の推計



※) 認知症高齢者自立度Ⅱとは、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態をいう。

1. 高齢者数・要介護等認定者数等の推計

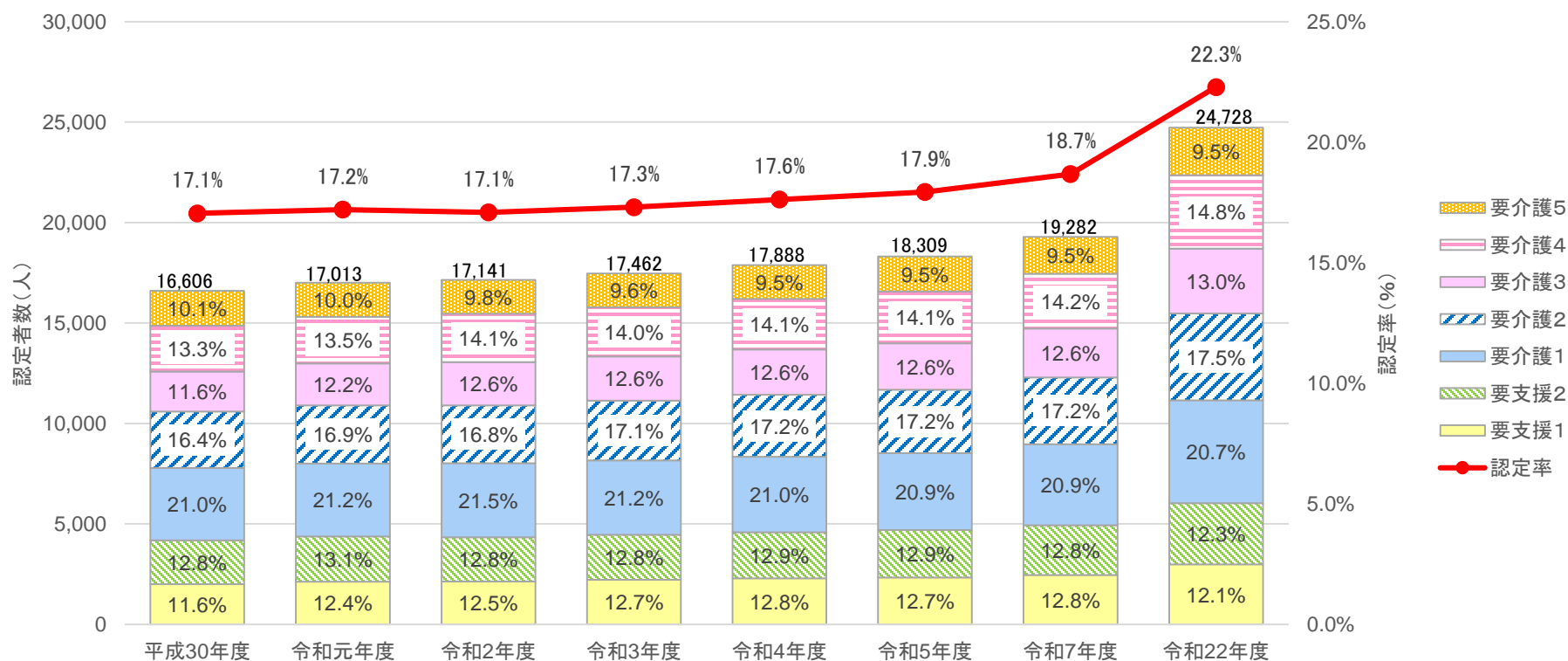
1)人口等の状況 (3)要介護等認定者及び認定率の推計

■ 推計における留意点

- 令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、新規認定申請件数については影響が見込まれることから、自然体推計に用いる認定の伸びは、平成30年度から令和元年度の伸びを採用する。

■ 要介護等認定者及び認定率の推計(各年9月末時点推計)

- 第8期計画においても引き続き増加傾向を見込んでおり、特に要介護2までの比較的軽度な方の増加を見込んでいる。
- 団塊の世代が65歳以上になり母数が増えたことから、認定率は横ばい傾向にあったが、第8期計画期間中は徐々に増加することが見込まれる。



2. 介護(介護予防)サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (1) 推計における留意点

(新型コロナウイルス感染症の影響)

■ 新型コロナウイルス感染症の影響

- 新型コロナウイルス感染症流行に伴う外出自粛要請の影響により、本市では令和2年4月及び5月のサービス利用が減少している。
- 訪問サービス、通所サービス、短期入所サービス、居宅療養管理指導は、新型コロナウイルス感染症流行に伴いサービス利用が減少した。
- それ以外の介護保険サービスは、サービス利用に影響が出なかったと考えられる。

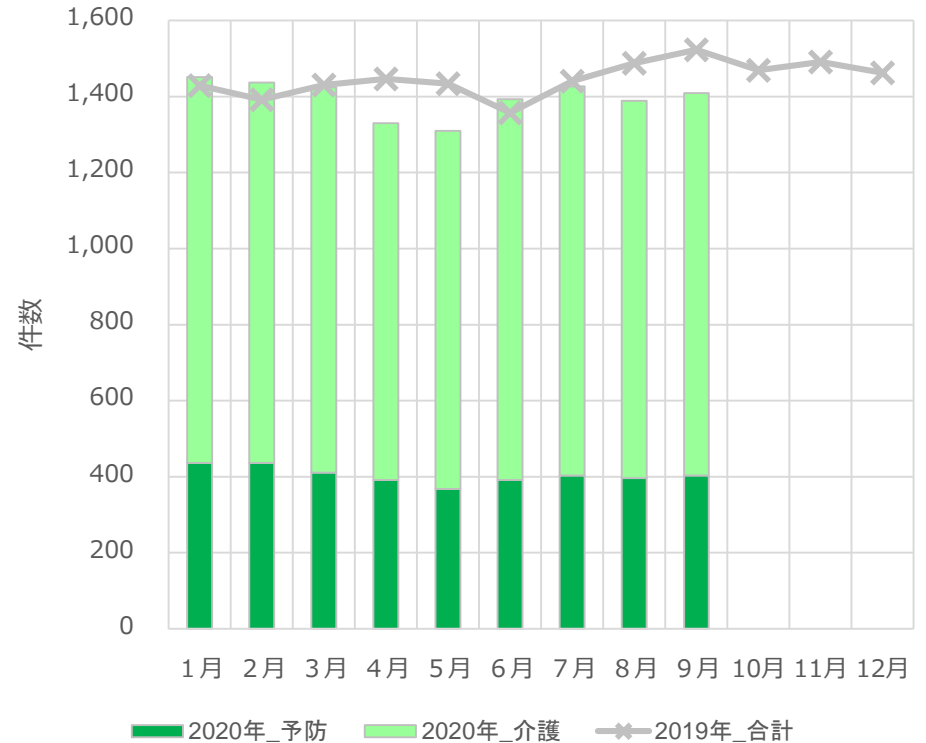


■ 推計における留意点

- 令和2年度の利用は新型コロナウイルス感染症流行の影響があることから、自然体推計に用いるサービス利用の伸びは平成30年度から令和元年度の伸びを採用する。
- 自然体推計を行うにあたり、令和2年4月及び5月の実績は除外して計算する。
- 短期入所生活介護(ショートステイ)は、6月以降も利用者数が戻っていないことから、自然体推計値からさらに補正増する。
- 基盤整備を行うサービスは、その整備量を勘案して見込み量を設定する。
- 住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を加味したうえで、見込み量を設定する。

新型コロナウイルス感染症の影響があったサービス

例) 通所リハビリテーション



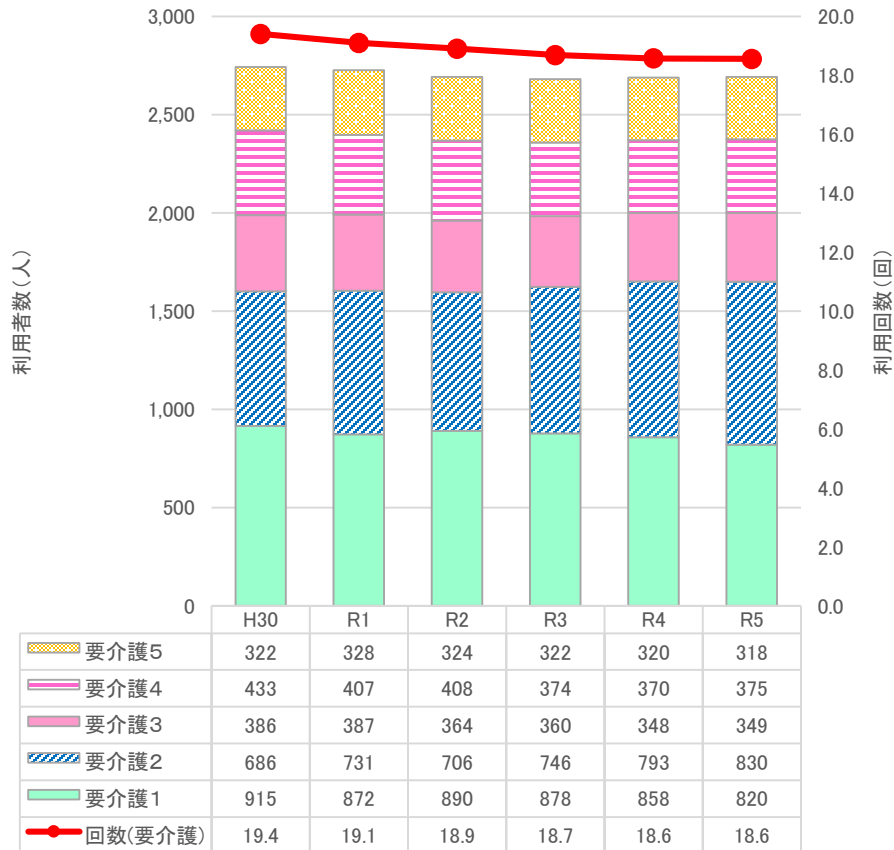
2. 介護（介護予防）サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (2) 居宅系サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

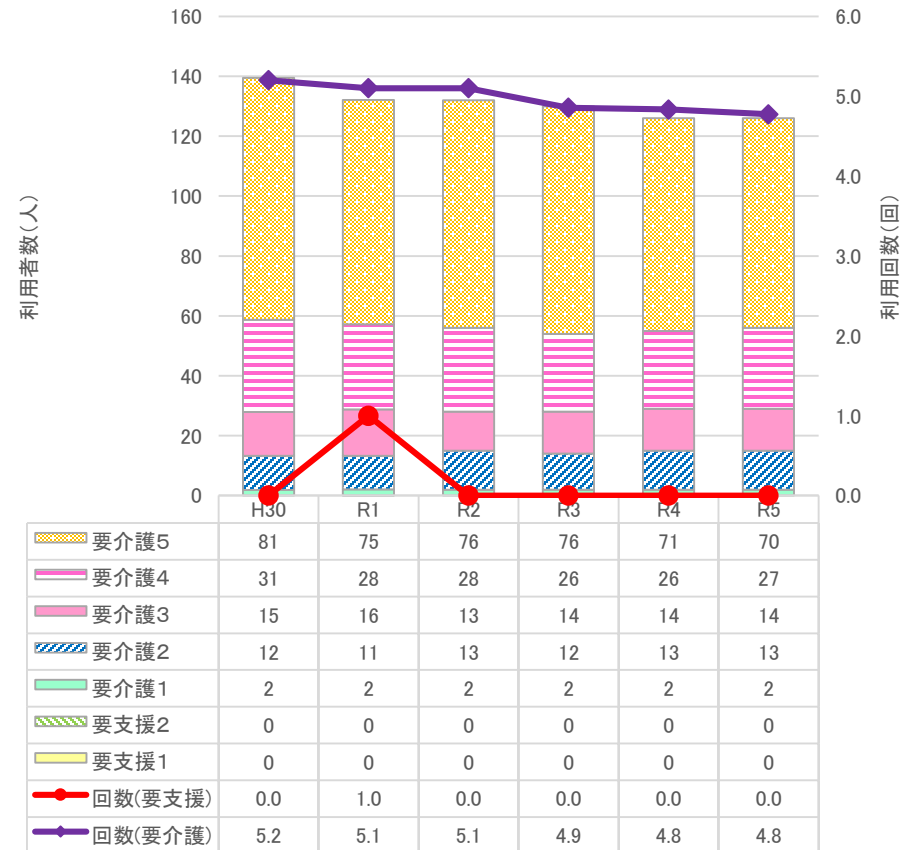
■ 訪問介護

- 介護人材不足により供給量が増加する見込みがないため、利用者等はおおむね横ばいで推移すると見込む。



■ 訪問入浴介護

- 供給量の増加が見込めず、入浴ニーズは通所系サービスで補完されるため、利用者数等はおおむね横ばいで推移すると見込む。



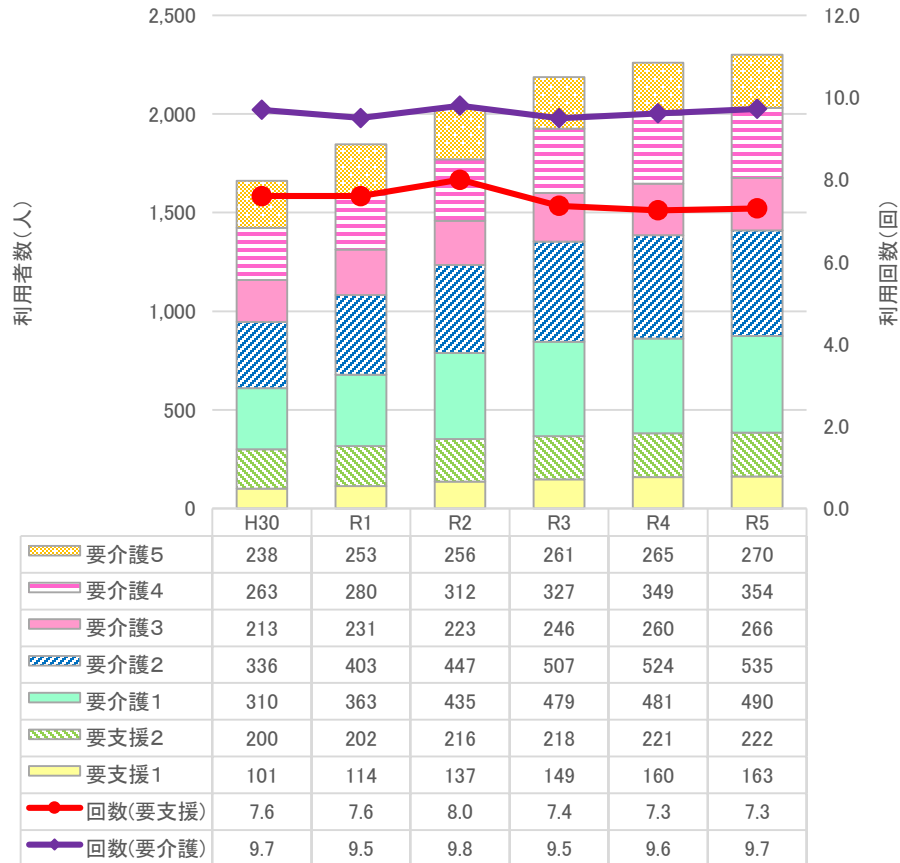
2. 介護（介護予防）サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (2) 居宅系サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

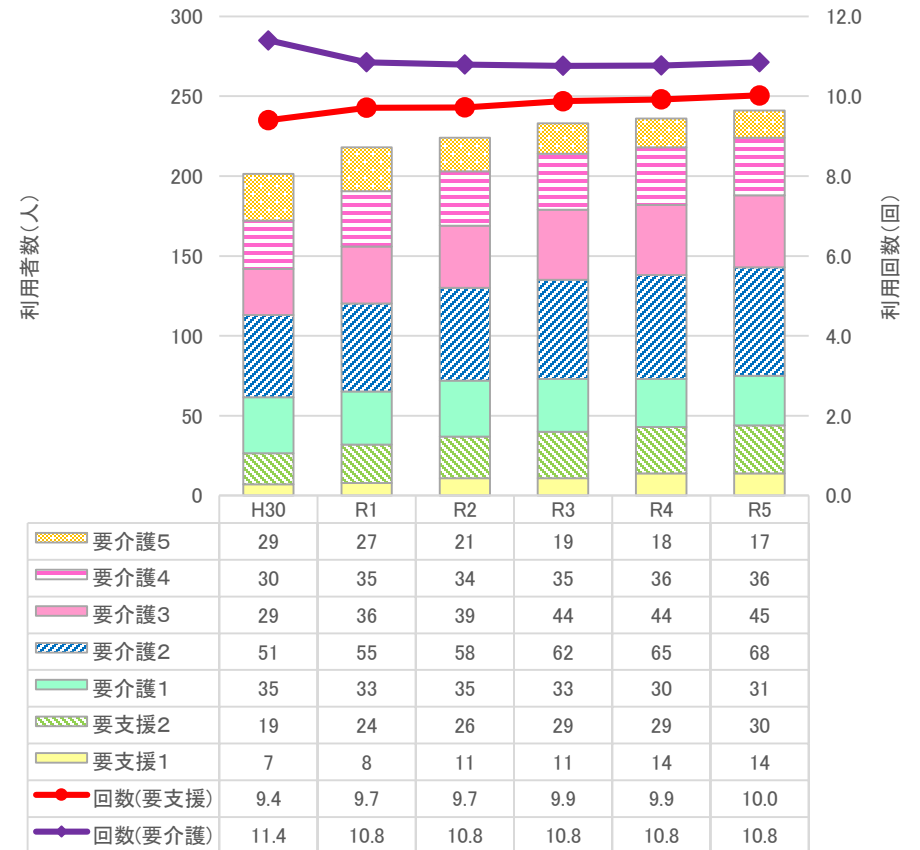
■ 訪問看護

- 基本的に第7期のトレンドによる自然体推計値を採用する。



■ 訪問リハビリテーション

- 基本的に第7期のトレンドによる自然体推計値を採用しつつ、需要の一部が訪問看護等で補完されることを見込み利用者数を補正減する。
- 利用回数はおおむね横ばいで推移すると見込む。



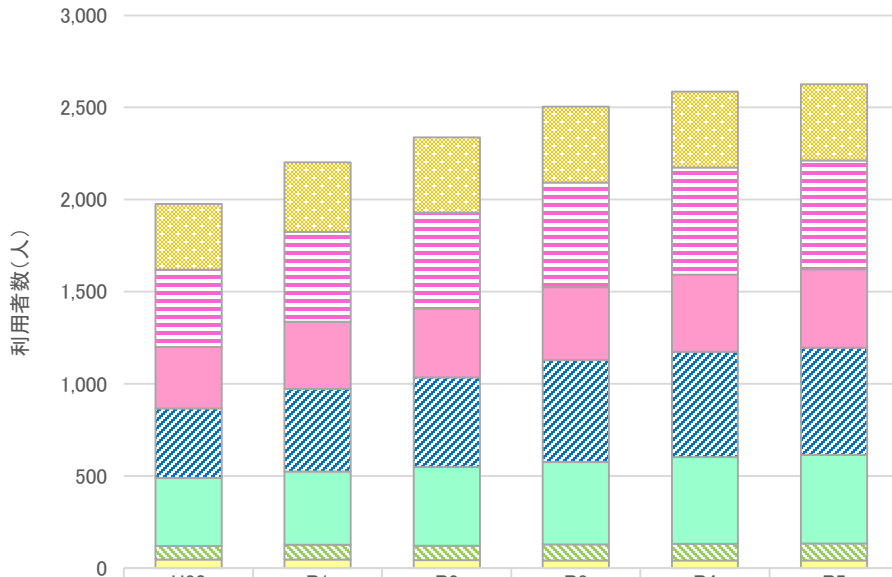
2. 介護(介護予防)サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (2) 居宅系サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

■ 居宅療養管理指導

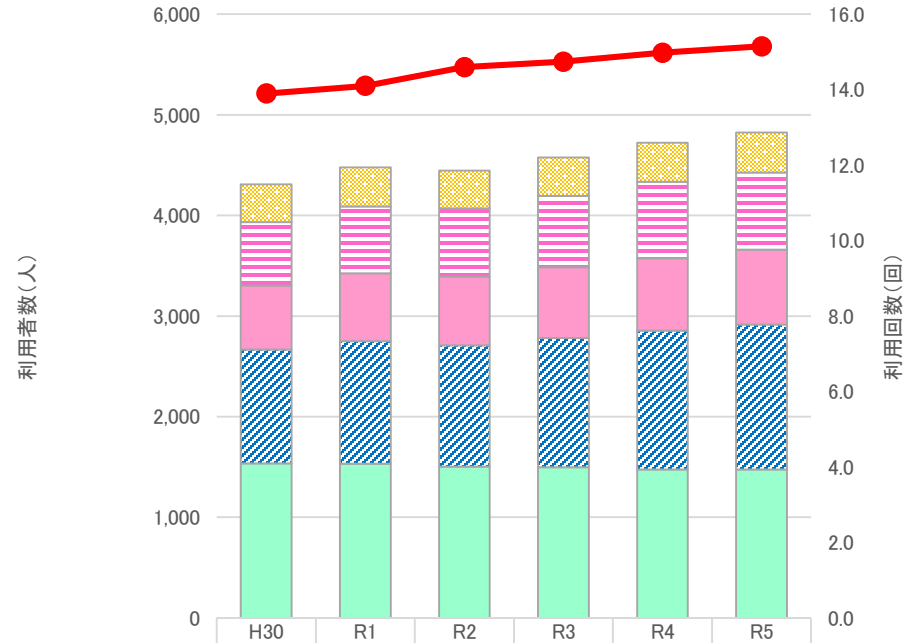
- 基本的に第7期のトレンドによる自然体推計値を採用する。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
要介護5	356	376	408	411	412	414
要介護4	421	488	521	568	582	590
要介護3	333	366	373	396	419	426
要介護2	375	447	487	552	571	582
要介護1	371	399	426	449	471	480
要支援2	72	79	79	86	90	93
要支援1	47	47	43	42	41	41

■ 通所介護

- 基本的に第7期のトレンドによる自然体推計値を採用しつつ、本市の利用割合が他市より高いことを勘案し、利用者数を補正増する。
- 利用回数は自然体推計値を採用する。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
要介護5	375	387	373	381	390	399
要介護4	631	667	678	711	758	768
要介護3	637	673	686	701	720	744
要介護2	1,131	1,218	1,205	1,288	1,381	1,441
要介護1	1,535	1,533	1,503	1,496	1,475	1,474
回数(要介護)	13.9	14.1	14.6	14.7	15.0	15.2

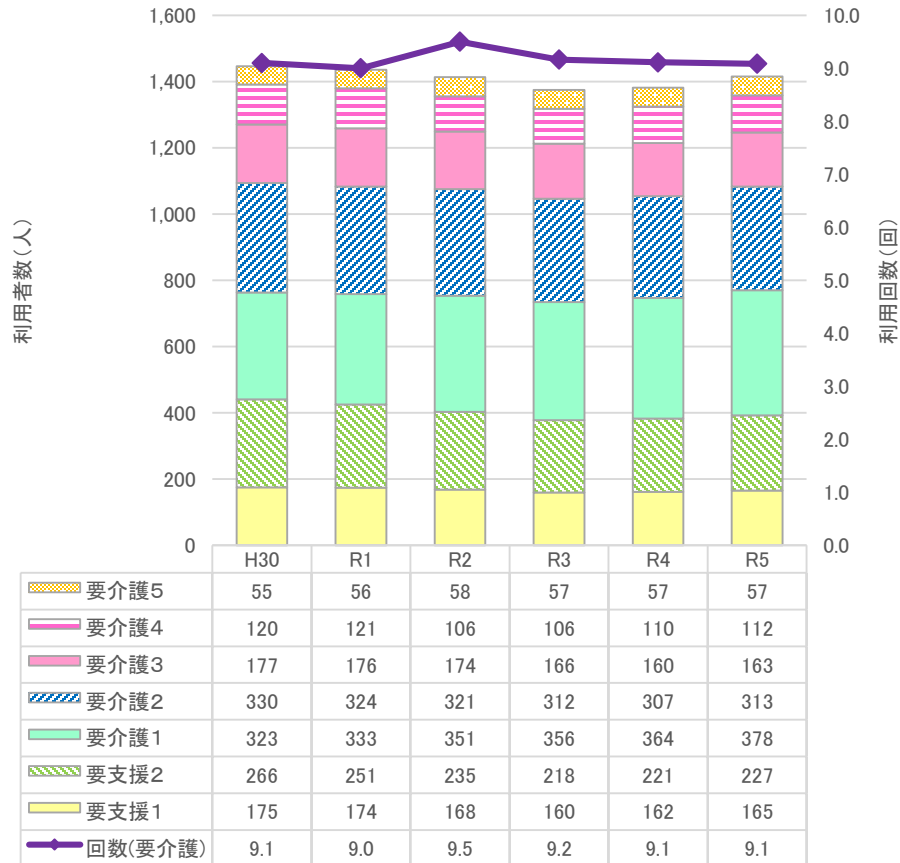
2. 介護（介護予防）サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (2) 居宅系サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

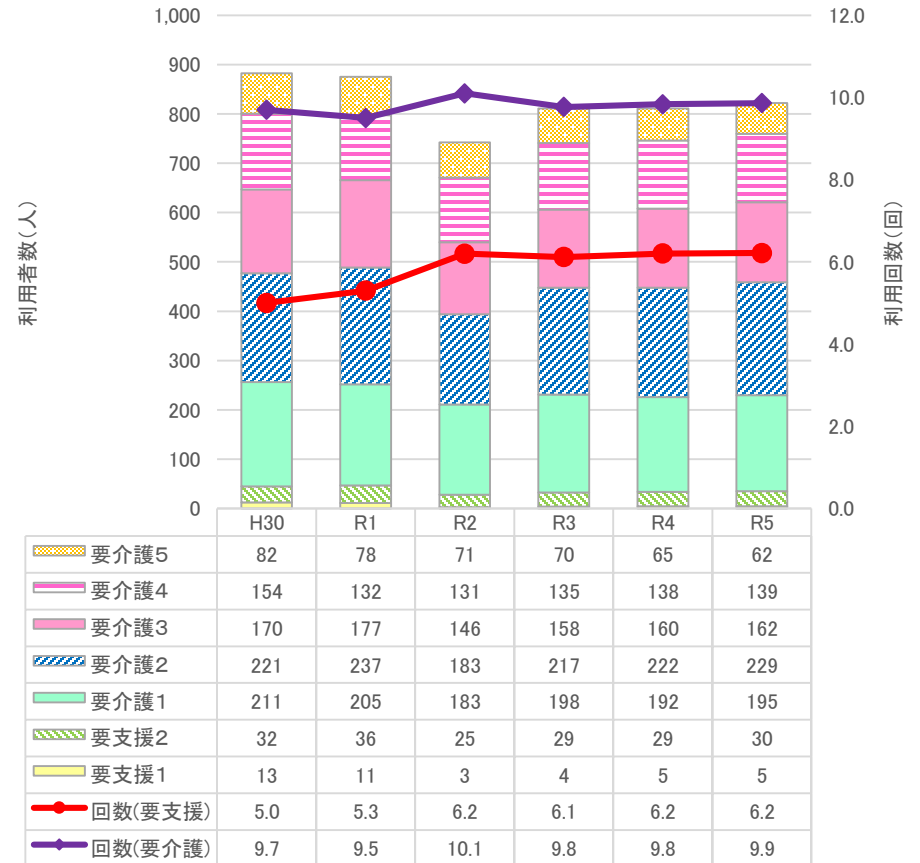
■ 通所リハビリテーション

- 基本的に第7期のトレンドによる自然体推計値を採用する。



■ 短期入所生活介護

- 基本的に第7期のトレンドによる自然体推計値を採用しつつ、令和2年度4月及び5月以外も新型コロナウイルス感染症の影響が見られることを勘案し補正増する。



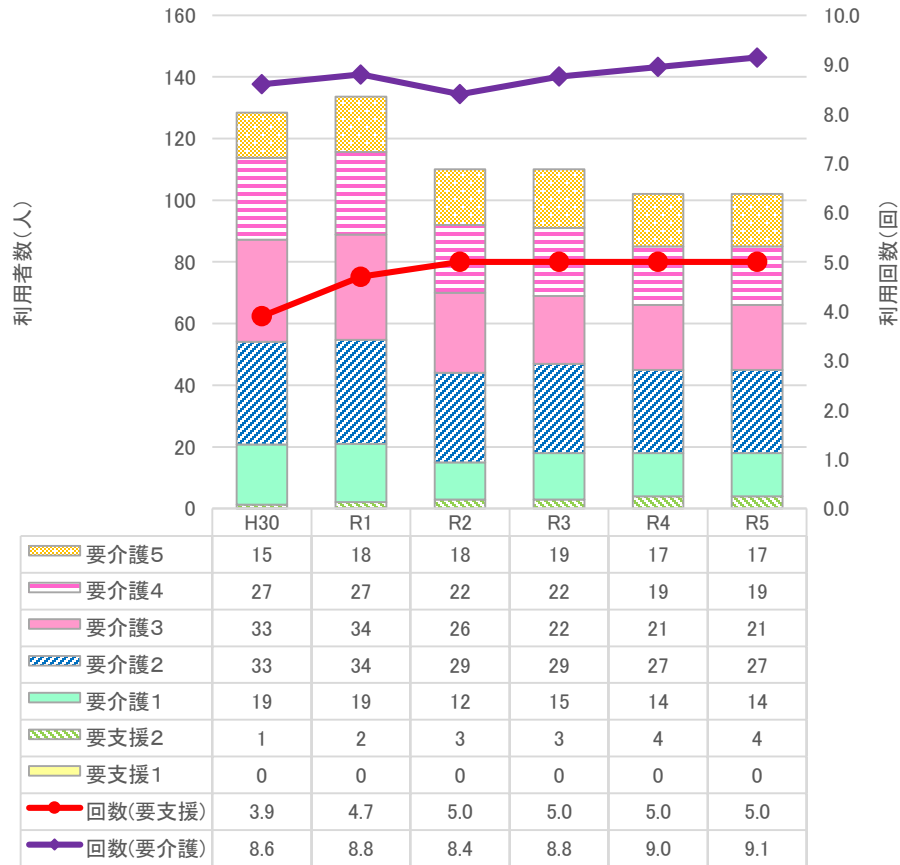
2. 介護（介護予防）サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (2) 居宅系サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

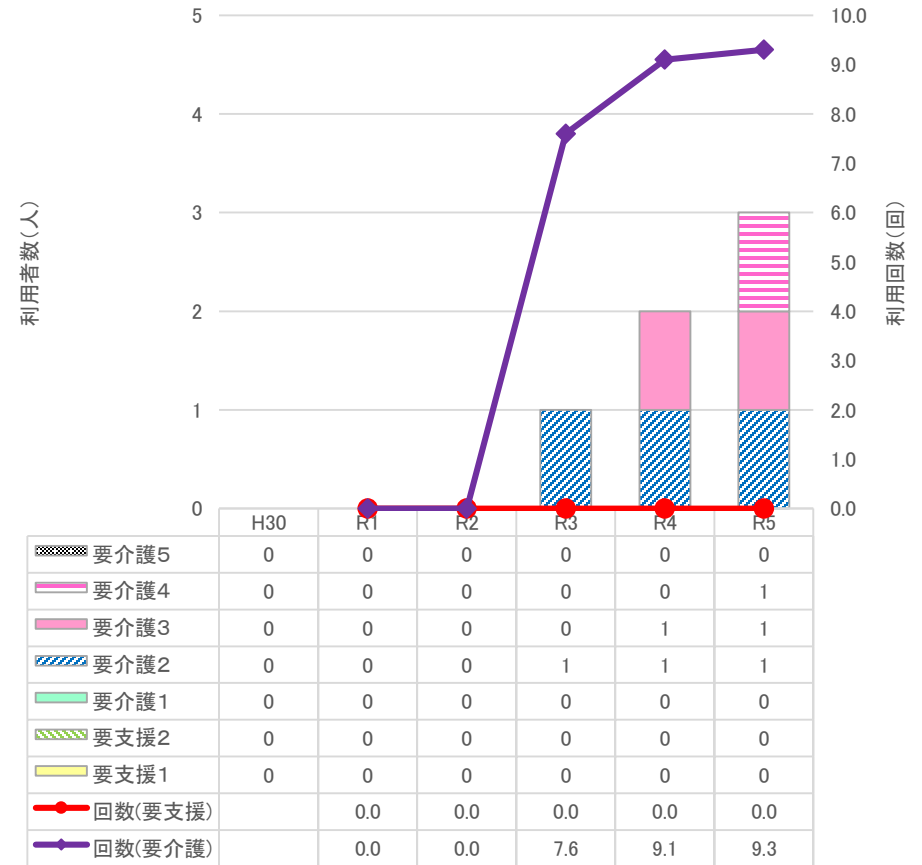
■ 短期入所療養介護（介護老人保健施設）

- 第8期計画において、介護老人保健施設が39床減少する予定なので、それに伴う利用者の減少を見込む。



■ 短期入所療養介護（介護医療院）

- 第8期計画において、介護医療院が39床増加する予定なので、それに伴う利用者の増加を見込む。



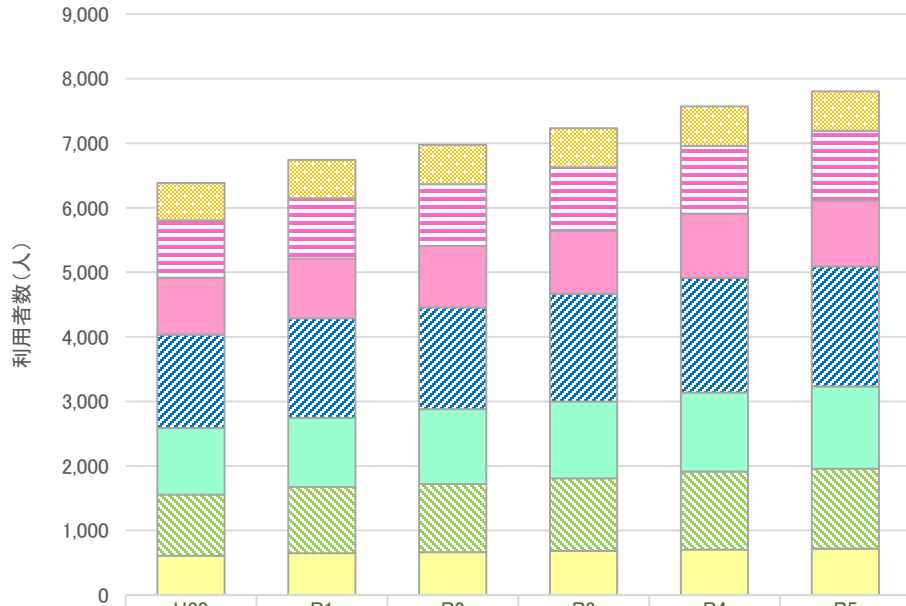
2. 介護（介護予防）サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (2) 居宅系サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

■ 福祉用具貸与

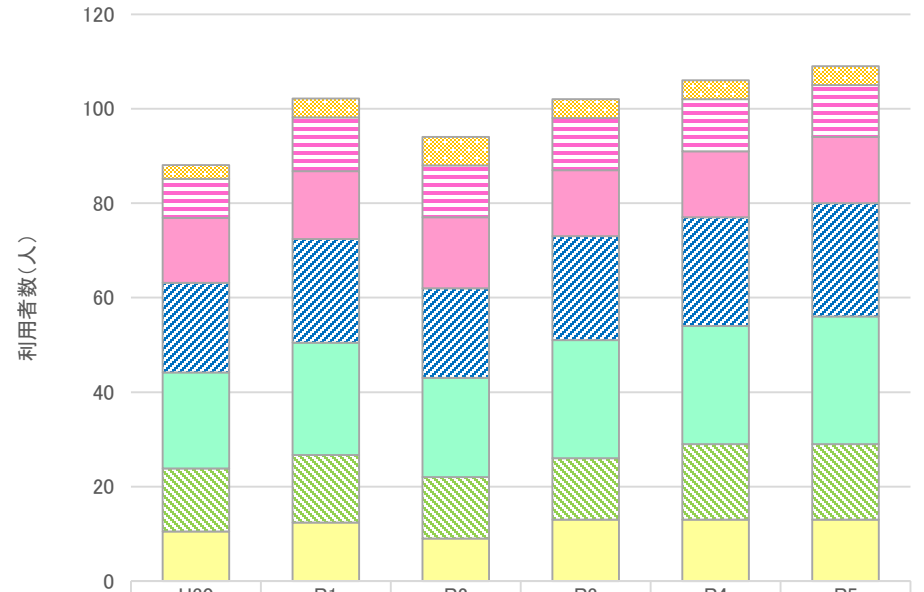
- 基本的に第7期のトレンドによる自然体推計値を採用する。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
要介護5	577	596	610	605	609	611
要介護4	891	930	955	987	1,052	1,082
要介護3	882	929	952	970	994	1,022
要介護2	1,444	1,543	1,576	1,670	1,776	1,860
要介護1	1,031	1,072	1,163	1,191	1,222	1,272
要支援2	951	1,026	1,055	1,126	1,210	1,241
要支援1	608	648	663	684	706	717

■ 特定福祉用具購入

- 基本的に第7期のトレンドによる自然体推計値を採用する。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
要介護5	3	4	6	4	4	4
要介護4	8	11	11	11	11	11
要介護3	14	14	15	14	14	14
要介護2	19	22	19	22	23	24
要介護1	20	24	21	25	25	27
要支援2	13	14	13	13	16	16
要支援1	11	12	9	13	13	13

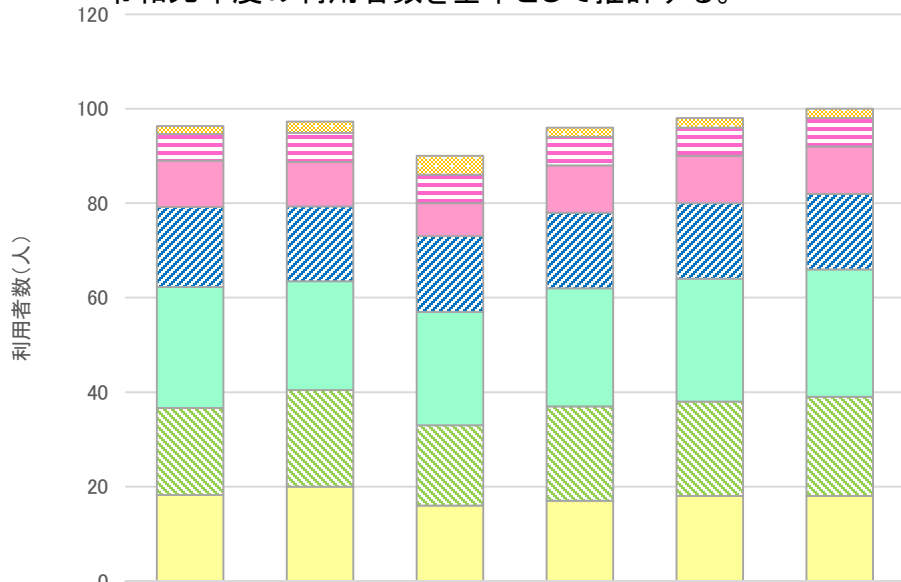
2. 介護（介護予防）サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (2) 居宅系サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

■ 住宅改修

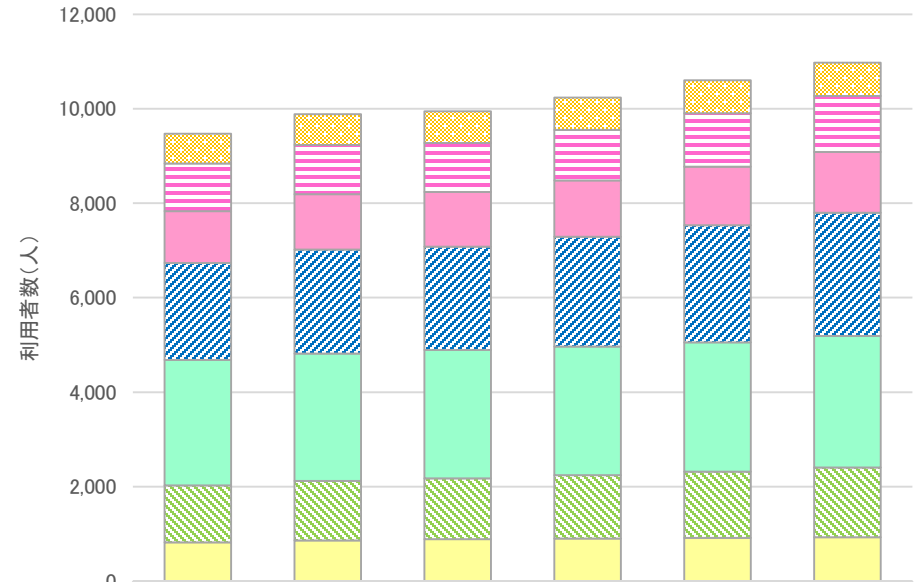
- 基本的に第7期のトレンドによる自然体推計値を採用する。
- 住宅改修費は1月あたりの利用数の変動が大きく、令和2年度の利用者見込数に乖離があることが予想されることから、令和元年度の利用者数を基本として推計する。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
要介護5	2	2	4	2	2	2
要介護4	6	6	6	6	6	6
要介護3	10	9	7	10	10	10
要介護2	17	16	16	16	16	16
要介護1	26	23	24	25	26	27
要支援2	18	20	17	20	20	21
要支援1	18	20	16	17	18	18

■ 介護予防支援・居宅介護支援

- 基本的に第7期のトレンドによる自然体推計値を採用する。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
要介護5	631	655	666	680	695	710
要介護4	1,006	1,042	1,042	1,071	1,134	1,181
要介護3	1,100	1,174	1,157	1,195	1,240	1,292
要介護2	2,051	2,197	2,186	2,324	2,479	2,605
要介護1	2,654	2,695	2,717	2,722	2,735	2,786
要支援2	1,207	1,265	1,286	1,340	1,404	1,473
要支援1	819	857	889	902	913	930

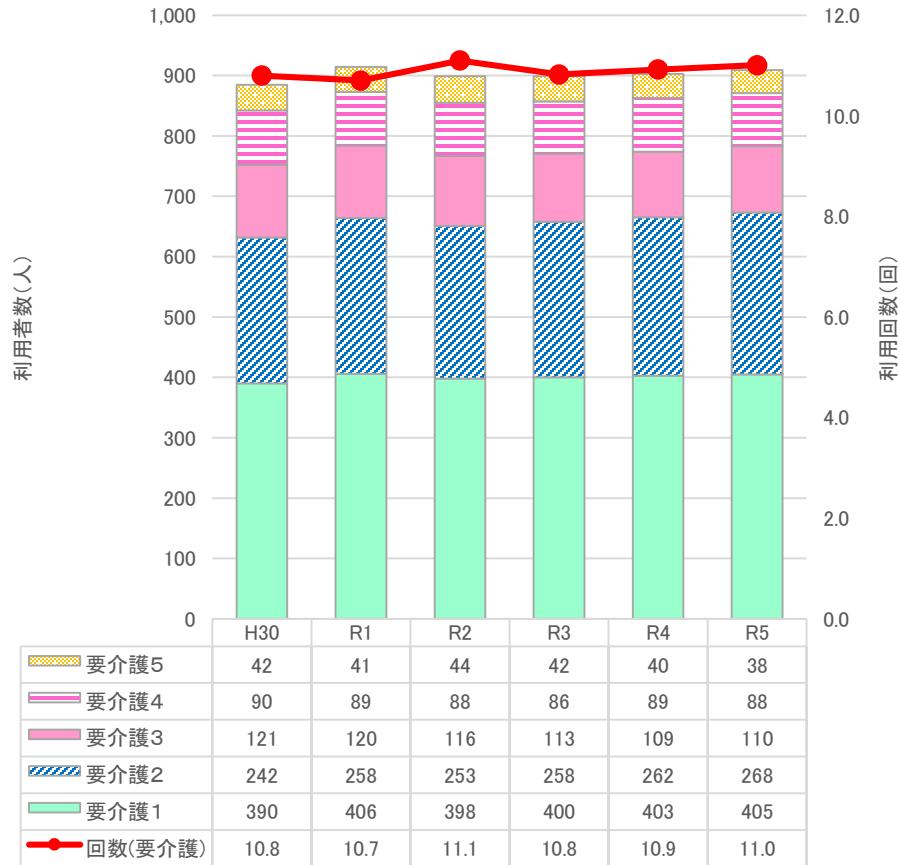
2. 介護（介護予防）サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (3) 地域密着型サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

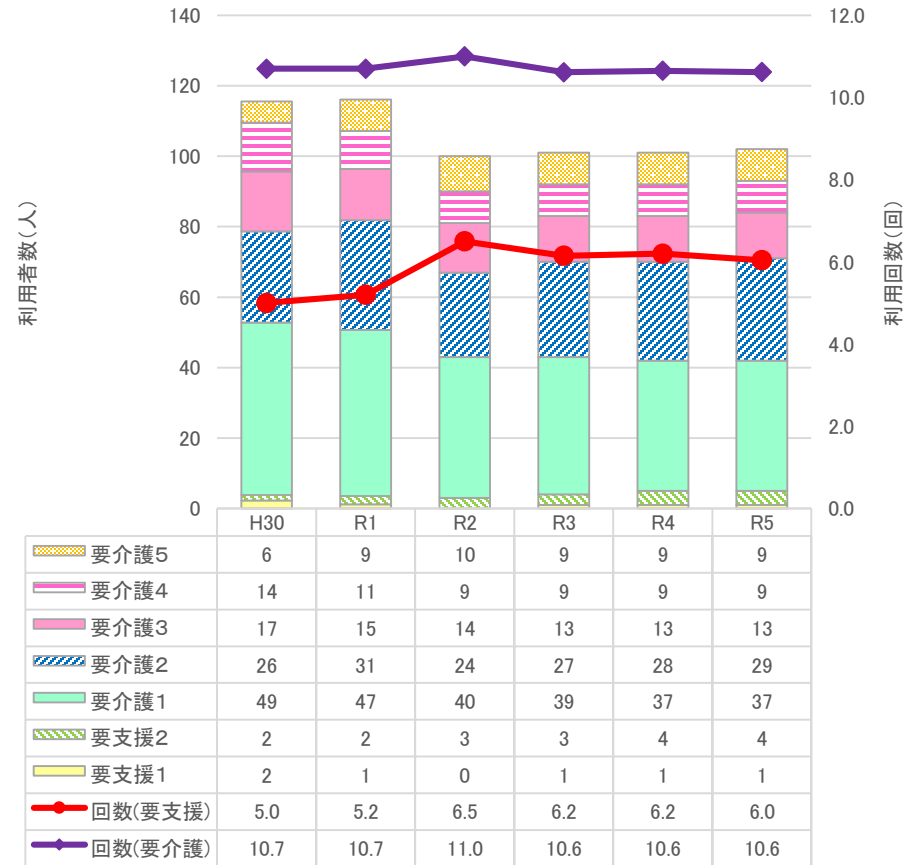
■ 地域密着型通所介護

- 供給量が減少することも見込まれることから、通所介護ではあるものの、おおむね横ばいで推移すると見込む。



■ 認知症対応型通所介護

- 令和2年に事業所が廃止され供給量が減少し、今後は同程度の供給量となることを見込まれるから、おおむね横ばいで推移すると見込む。



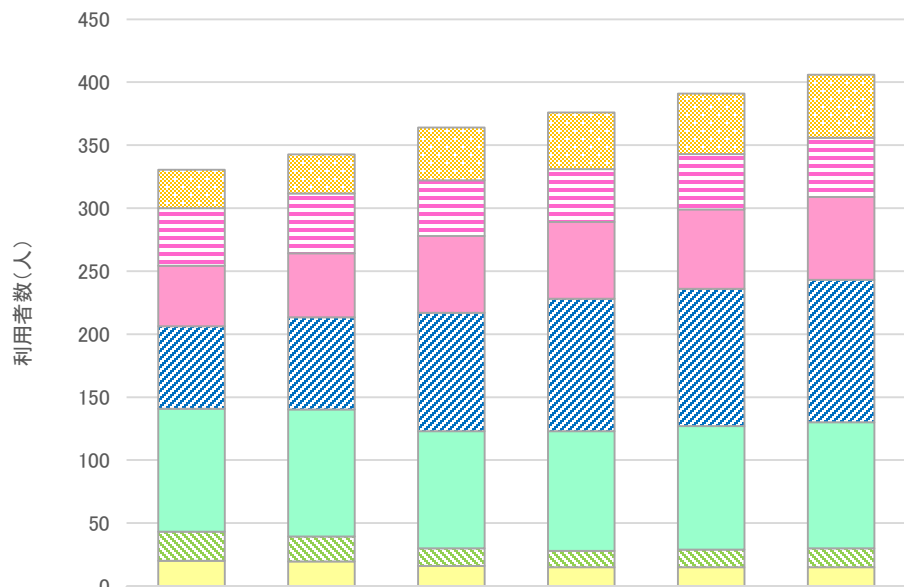
2. 介護(介護予防)サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (3) 地域密着型サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

■ 小規模多機能型居宅介護

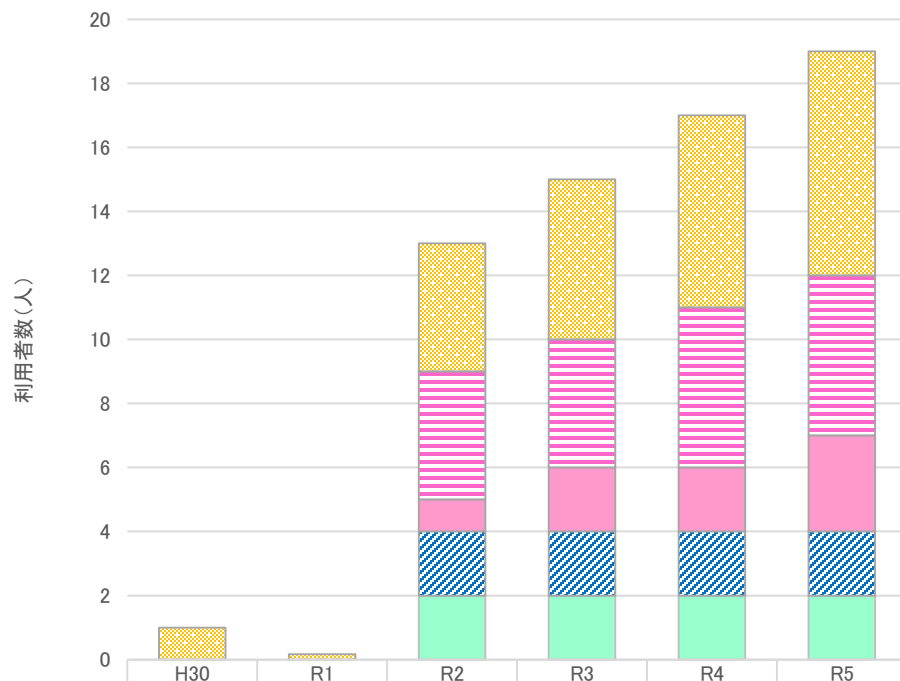
- 自然体推計による増加を見込みつつ、第8期計画において整備を予定している1事業所(登録定員29人)が令和5年度から開設すると見込んで推計する。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
要介護5	31	31	42	45	48	50
要介護4	46	48	44	42	44	47
要介護3	48	51	61	61	63	66
要介護2	66	73	94	105	109	113
要介護1	98	101	93	95	98	100
要支援2	23	20	14	13	14	15
要支援1	20	20	16	15	15	15

■ 看護小規模多機能型居宅介護

- 令和2年度に1事業所(登録定員29人)が開設したことから、徐々に利用者が増え、小規模多機能型居宅介護の利用者数程度まで伸びると推計する。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
要介護5	1	0	4	5	6	7
要介護4	0	0	4	4	5	5
要介護3	0	0	1	2	2	3
要介護2	0	0	2	2	2	2
要介護1	0	0	2	2	2	2

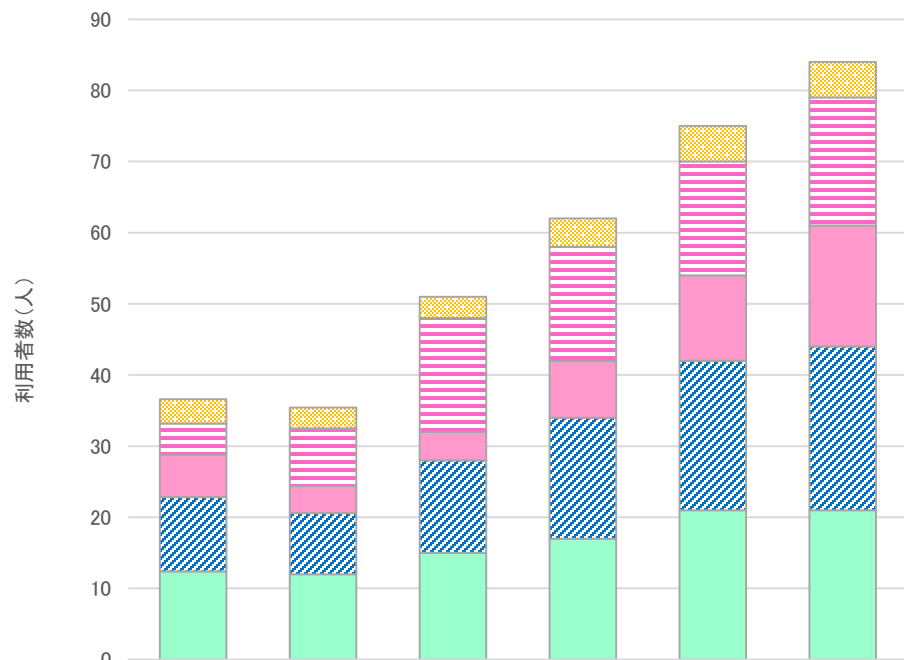
2. 介護(介護予防)サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (3) 地域密着型サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

■ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

- 令和元年度に2事業所が開設し、市内の事業所が3か所になったことから、利用者の増加を見込む。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
要介護5	3	3	3	4	5	5
要介護4	4	8	16	16	16	18
要介護3	6	4	4	8	12	17
要介護2	10	9	13	17	21	23
要介護1	12	12	15	17	21	21

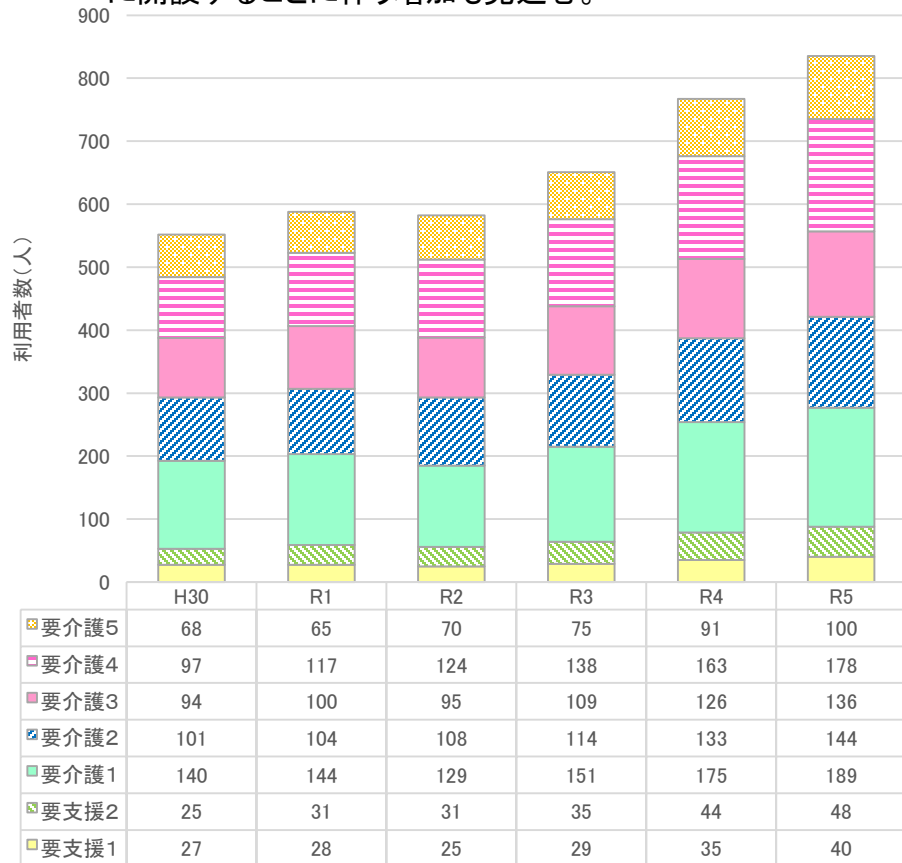
2. 介護（介護予防）サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (4) 施設・居住系サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

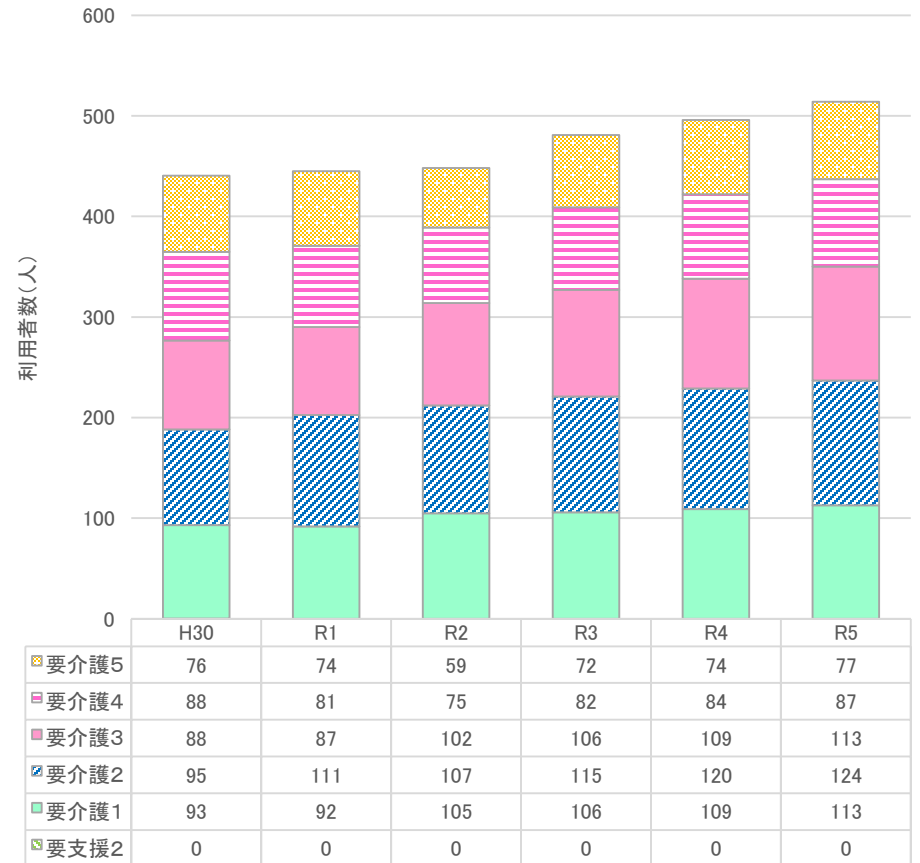
■ 特定施設入居者生活介護

- 第8期計画において160床分が転換により増えることに伴い、利用者が増加していくと推計する。
- 令和2年度に選定を予定している80床分が第8期計画後半に開設することに伴う増加も見込む。



■ 認知症対応型共同生活介護

- 令和2年10月に開設した1事業所(18床)の増加に加え、第8期計画において整備を予定している2事業所(36床)が、令和4年度に1事業所(18床)、令和5年度に1事業所(18床)開設すると見込んで推計する。



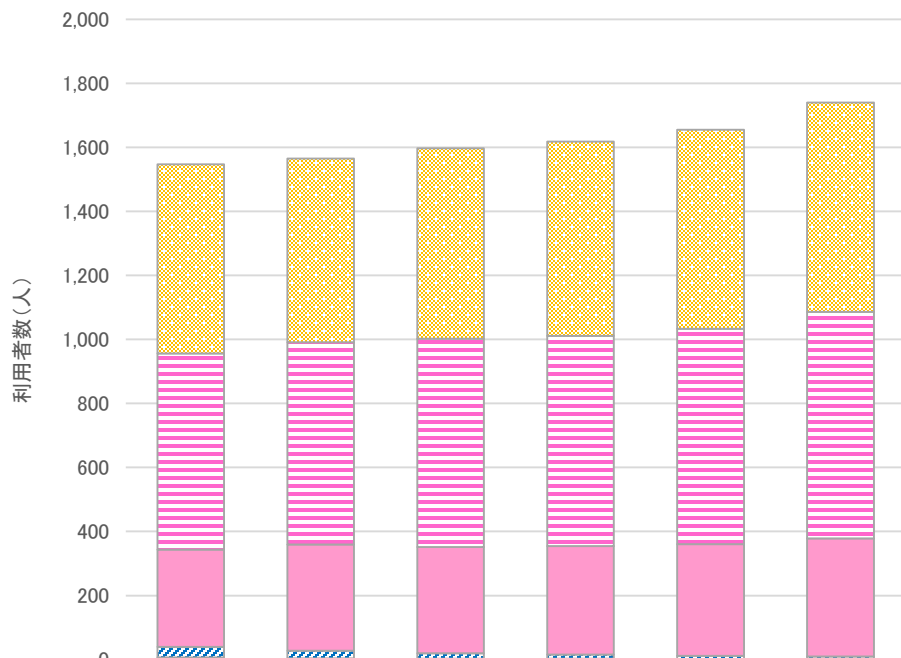
2. 介護（介護予防）サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (4) 施設・居住系サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

■ 介護老人福祉施設

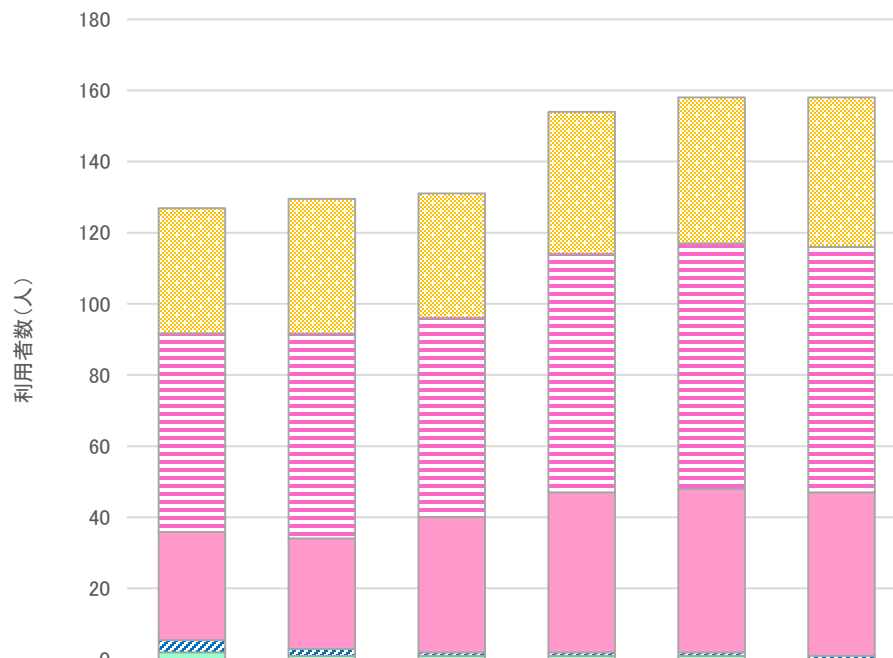
- 第7期計画により選定した1施設(72床)及び第8期計画において増床を予定している30床が、第8期計画後半に開設すると見込んで推計する。



要介護5	591	574	595	607	622	654
要介護4	613	631	651	657	673	708
要介護3	304	332	331	338	348	368
要介護2	33	25	17	13	10	8
要介護1	7	3	3	3	2	2

■ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

- 第7期計画において選定した1施設(25床)が、令和3年度から開設すると見込んで推計する。



要介護5	35	38	35	40	41	42
要介護4	56	58	56	67	69	69
要介護3	30	31	38	45	46	46
要介護2	3	2	1	1	1	1
要介護1	2	1	1	1	1	0

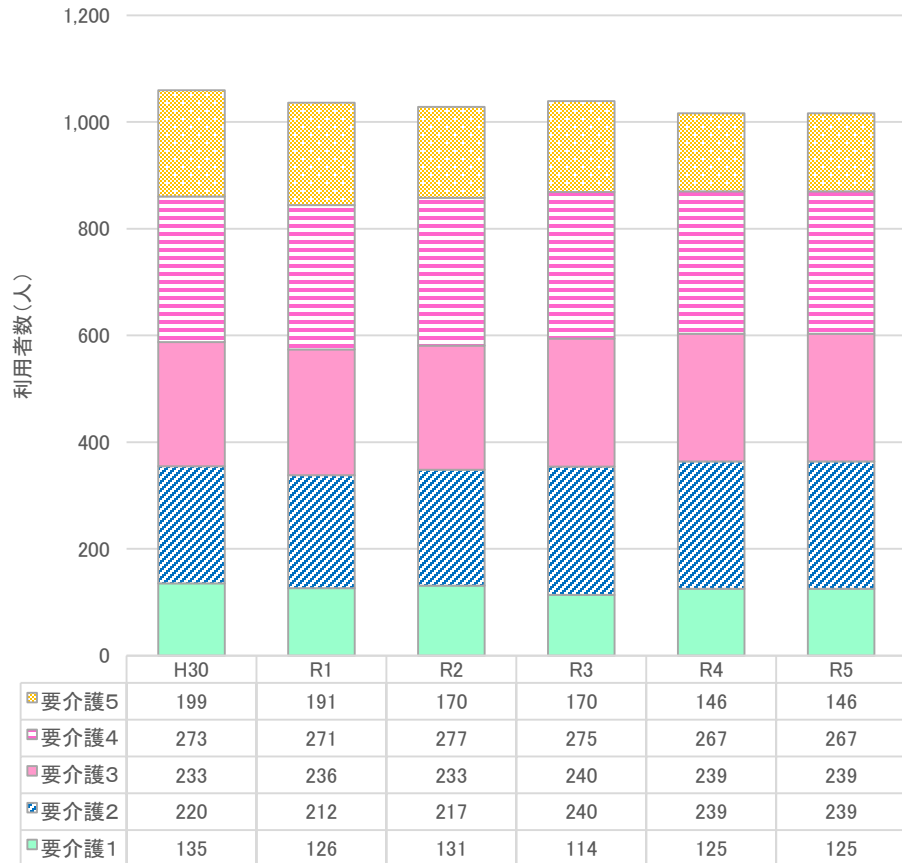
2. 介護（介護予防）サービス利用者数等の推計

1) サービス別利用者数の状況 (4) 施設・居住系サービス利用者の推計

(見える化システムから抜粋)

■ 介護老人保健施設

- 第8期計画において39床の減少を予定していることから、令和4年度に減少を見込む。



■ 介護医療院

- 令和元年10月に開設した1施設(26床)の増加に加え、第8期計画において介護老人保健施設からの転換を予定している39床が令和4年度から開設すると見込んで推計する。

